



計画の推進体制

1 推進体制

(1) 市民による健康づくりの推進

市民一人ひとりが主体的に健康づくりに関心を持ち、正しい知識を身につけ、実践することが重要です。行政及び様々な機関が、健康づくりにつながる情報の積極的な発信や、健康に関する事業を実施することにより、市民の自主的な健康づくりを促進していきます。

(2) 地域との連携

地域において、運動や食の活動を推進する団体の人材育成及び活動支援により、健康づくり・食育の普及啓発を推進します。併せて、サロンや老人クラブ等の活動支援を通して、地域における健康づくりやつながりづくりに取り組みます。

(3) 保健・福祉・医療機関との連携

生活習慣病の発症・重症化予防のためには、特定(基本)健診やがん検診を受診し、自分の健康状態を把握し、早期に適切な対応をすることが重要です。また、歯周疾患予防のために、歯周疾患検診を受診し、定期的なケアを受けることも重要です。医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携し、各種健診受診率向上及び受診後の適切な対応による重症化予防を図ります。

(4) 保育施設・教育機関との連携

若い世代から正しい食習慣や運動習慣の定着を図ることは、壮年期の生活習慣病予防につながります。

また、飲酒喫煙に関する正しい知識・ストレスへの対処・相談窓口の周知など、若い世代に対して情報提供を行い、理解の定着を促すことが重要です。保育施設や教育機関との連携を通じて、将来を見据えた健康の維持向上を図ります。

(5) 企業・事業所との連携

事業所単位での従業員に対する健康管理の効果的な取組により、将来的な介護予防につなげることが望まれます。また、働く世代に対し、市などが実施する健康に関する事業の周知等を通じた、健康づくりの促進が重要です。

あらゆる場面において、健康につながる情報や取組に市民に触れることができるよう、協力体制を構築し、健康づくりを推進します。

(6) 庁内における連携

本計画を推進するために、(1) から (5) に掲げる主体に加え、庁内関係各課とともに、その役割を踏まえながら相互に連携を図り、健康づくりを推進します。

2 計画の進行管理

計画を効果的に推進するためには、市民、行政、地域団体等が目標を共有し、目標達成に向けて計画の進行管理・評価を行う必要があります。具体的には、それぞれの分野ごとに評価指標を設定し、毎年度の達成状況を把握することで、次年度以降の取組へ生かしていくことが重要です。

本計画に基づく健康づくりの取組状況や各分野に設けた目標数値の達成度等について、三原市総合保健福祉計画推進等委員会において評価し、計画の適切な進行管理に努めます。

なお、本市での「健康」は、身体的、精神的及び社会的側面も含めて「健康」としています。精神的及び社会的健康についても、「こころ安らぐやさしいまち」において、可能な限り指標を設定し評価していきます。

進行管理は、PDCAサイクルを活用し、実効性のある取組の推進を図ります。計画の最終段階では、市民を対象としたアンケート調査等を実施し、総合的な各指標の達成状況を確認します。併せて、市民の生活習慣や健康状態を把握することで、計画の最終的な評価を行い、次期計画の策定を行います。



《健康増進計画・食育推進計画》

【 総括目標 】

評価項目		基準値 令和4(2023)年	目標値 令和11(2029)年
健康寿命 の延伸	平均寿命の分を上回る健康寿命の 延伸	男性 -0.73年	0年以上
		女性 -0.62年	0年以上
健康格差 の縮小	健康づくりに関心があり、日頃か ら健康づくり(健診・食事・運動な ど)に取り組んでいる人の割合	60.8%	63.0%
	健康づくりに関心がなく、日頃か ら健康づくり(健診・食事・運動な ど)に取り組んでいない人の割合	11.3%	8.0%

【 評価指標 】

評価項目		基準値 令和4年度	目標値 令和11年度
1-1 栄養・食生活・食育による健康増進（食育推進計画）			
自分にとって適切な食事の内容・量を知 っている人の割合		72.8%	75.0%
朝食を食べる人の 割合	全体	80.5%	90.0%
	20歳代男性	51.7%	75.0%
	小学6年生	95.0%	98.0%
	中学3年生	92.0%	97.0%
適正体重を維持し ている人の割合	男性	61.3%	70.0%
	女性	65.7%	75.0%
食育に関心を持っている人の割合		76.1%	90.0%
地産地消を実践している人の割合		33.3%	50.0%
三原市の郷土料理を知っている人の割 合		26.7%	50.0%
三原市の特産物を知っている人の割合		68.1%	80.0%
食塩摂取量の減少 (尿中推定塩分摂取 量)	男性	10.06g	7.5g以下
	女性	9.16g	6.5g以下
1-2 歯と口腔の健康づくり			
3歳児歯科健診でう歯(むし歯)に罹患 していない人の割合		85.9%	88.0%

評価項目		基準値 令和4年度	目標値 令和11年度
定期的に歯科健診を受けている人の割合		49.4%	65.0%
ゆっくりよく噛んで食べる人の割合		20.8%	35.0%
食べ物をうまく噛める人の割合（50歳以上）		74.2%	80.0%
1-3 運動・身体活動による健康増進			
意識的に身体を動かしている人の割合		71.8%	80.0%
定期的にスポーツや運動をしている人の割合		45.0%	50.0%
フレイルの言葉も意味も知っている人の割合		20.7%	30.0%
1日の平均歩数が分かる人の割合		51.8%	60.0%
1-4 喫煙・飲酒対策の充実			
喫煙者の割合	男性	28.50%	22.0%
	女性	7.90%	4.3%
COPDの認知度		22.3%	50.0%
毎日飲酒している人の割合		19.2%	18.0%
多量飲酒（1日3合以上）している人の割合	男性	3.20%	3.0%
	女性	2.20%	1.5%
1-5 休養・こころの健康づくり			
ストレスを感じている人の割合		77.0%	50.0%
ストレスの解消法を持っている人の割合		93.2%	95.0%
睡眠で休養が十分取れている人の割合		77.0%	80.0%
2-1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底			
特定健診受診率		29.4%	60.0%
特定保健指導利用率		34.3%	60.0%

評価項目		基準値 令和4年度	目標値 令和11年度
がん検診受診率 (胃・肺・大腸がん検診は 国保の人間ドック含む) (子宮がん検診は妊婦健診 含む)	胃がん	8.9%	17.0%
	肺がん	12.7%	20.0%
	大腸がん	13.6%	20.0%
	乳がん	24.0%	40.0%
	子宮がん	33.6%	50.0%
がん精密検査受診率		85.8%	90.0%
3-1 市民の主体的な健康づくりの推進			
健康であると思う人の割合		80.1%	85.0%
健康に関心があり、健康づくりに取り 組んでいる人の割合(*)		60.8%	65.0%
3-2 ころあぐやさしいまち(健康を支える基盤の充実)			
三原のまちが好きだと思う人の割合		76.3%	80.0%
いざという時助け合える人がいる割合		66.0%	80.0%
町内会等に健康づくりを目的とした集 う場がある人の割合		36.7%	80.0%
食生活改善推進員の新規養成者数		17人	20人
運動普及リーダーの新規養成者数		11人	20人
幸せだと感じる人の割合		85.3%	88.0%

《自殺対策計画》

【 総括指標 】

	初期値（平成 27 年度） ※平成 23 年～平成 27 年 の平均：5 年間	基準値（令和 5 年度） ※平成 28 年～令和 3 年 の平均：6 年間	目標値（令和 11 年度） ※令和 4 年～令和 9 年の 平均：6 年間
自殺死亡率 （平均）	21.7	17.1	12.8
自殺死亡者数 （累計）	107 人	94 人	65 人

【 評価指標 】

評価項目	基準値 令和 4 年度	目標値 令和 11 年度
悩みを相談できる窓口を知らない人の割合	22.7%	20.0%
ストレスの解消法を持っている人の割合（再掲）※	93.2%	95.0%
いざという時、助け合える人がいる割合【再掲】※	66.0%	80.0%
地域の人とのつながりを感じている人の割合	50.7%	55.0%